

# 戸田市薬剤師会理事会 議事録

記録日	令和6年2月26日
記録者	染川智行

日時	令和6年2月20日(火) 19:30~21:30	出席者	武長、野口、小澤、小林、鎌田、染川
場所	あおば薬局戸田公園		

## 議題

### 1. 議題

- (1) 戸田市薬剤師会HPリニューアルについて
  - 個人用メールアドレス(@todayaku.jp)の取り扱いについて
  - サイトバックアップ定額サービスについて
- (2) ホームページの利用方法提案  
掲載の可否、感染症情報の共有、定款の共有
- (3) 災害支援薬剤師の活動 学術研修の件

## 会議内容

### 1. 議題

#### (1) 戸田市薬剤師会HPリニューアルについて

- 個人用メールアドレス(@todayaku.jp)の取り扱いについて

小林理事	現時点では、メールアドレスは無制限に付与できる。ただし、パスワードが自動発行になるため、アドレス毎に付与されたパスワードを控えて、本人に通知するという形になる。 会員には、どのような形で付与するか検討して欲しい。
野口副会長	全員に付与するのではなく、欲しい人にだけ付与するのはどうですか。条件としては、「個人と直接つながるメールを提供してほしい。なければ付与します。」ということですが、問題は既に薬局のアドレスで複数の薬剤師が登録されている場合です。そのような場合に、個人のアドレスか、薬剤師会が提供するアドレスかを選択してもらうということになると思います。
小澤理事	個人アドレスで一回募集して、個人アドレスを提供できない人に対して次の段階を考える。 店舗のアドレスを今後どうするかを検討すべきでは？
染川会長	薬局のアドレスか個人のものかは判断できない。目的としては、全会員個人とメールで繋がることである。この趣旨を会員に理解してもらう必要がある。
野口副会長	重複している薬局のみを抽出すればよいですね。ただし、店舗のアドレスの場合は、会員以外にも内容を見られてしまうが問題はないか？
鎌田理事	少なくとも本人に情報が伝わるので問題はないと思います。
野口副会長	会員全員に、「原則として個人のアドレスにしてください。不可能な場合は薬剤師会のアドレスを提供します。」というインフォメーションを実施したほうが良いと思う。

染川会長	<p>全会員に趣旨をインフォメーションし、個人アドレス、店舗アドレス、薬剤師会付与アドレスにかかわらず全会員を個別のメールアドレスで登録するということによろしいですか？</p> <p>全会一致で承認</p>
------	---

● サイトバックアップ定額サービスについて

小林理事	HP 製作者から、バックアップの必要性の指摘があり定額プランの提案があった。理事会で検討をお願いしたい。
野口副会長	バックアップが必要なものであり、外注しない場合小林先生負担になるのであれば、外注したほうがよいと思う。
染川会長	バックアップを小林先生のみが行える状況は、業務の継続性を考えると望ましくはない。外注するほうがよいと思う。
野口副会長	まずは、1年間使用して再検証することを提案します。
染川会長	<p>それでは、1年間使用して再検証すると言ことによろしいですか。手続きは小林理事に一任したいと思います。</p> <p>全会一致で承認</p>

(2) ホームページの利用方法提案

野口副会長	<p>学校薬剤師会で共有されている戸田市からの感染症情報を HP にアップしたほうが良いと思う。保健医療計画の中にも感染症対策が重点項目とされているので、全会員で共有する必要があると思う。戸田市からの情報を齋藤先生(学校薬剤師委員会副委員長)がメールで各委員に送っている情報を直接 HP にアップして、会員が閲覧するという形が理想的である。</p>
染川会長	理事、委員長等が必要な情報を自己判断で HP にアップすることが望ましいが、現時点ではまだ難しいので小林理事に必要情報を PDF で送りアップしてもらう
野口副会長	毎回メールで流すのではなく、HP にアップしたものを会員が閲覧するというほうが HP の有効活用にもつながると思う。
染川会長	<p>それでは、学校薬剤師で共有されている市からの感染症情報を HP に掲載する。現時点では小林理事がアップし、将来的には各責任者が自己判断で直接アップするマニュアルを共有すると言ことによろしいですか。</p> <p>全会一致で承認</p>
鎌田理事	<p>HP の活用について、一つ情報提供をします。</p> <p>今後、夜間休日体制の構築について、夜間休日対応薬局のリストを HP に掲載することが必須になる。現時点では、地域の薬剤師会なのか県薬なのかは不明。</p>

(3) 災害支援薬剤師の活動 学術研修の件

染川会長	<p>災害薬剤師講演会を実施したい。</p> <p>今年の元旦に発生した能登半島地震に第一班として派遣された薬剤師と、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震すべてに携わった災害薬剤師を招いて、講演会を開くことを提案したい。今回の地震では、災害支援が半年にわたると推測されまだまだ薬剤師のマンパワーが必要と考える。このタイミングで現場を経験した薬剤師に講演してもらうことは大変意義のあることだと考え研修会の実施を提案した。</p> <p>全会一致で承認</p>
------	---

## 2. 報告・確認事項

- (1) 代表者会議報告 野口副会長
  - 本田顕子氏の支援
  - 学術大会におけるボランティア支援要請
- (2) 地域薬剤師会個別会員に対する県薬の考え方(情報共有)
  - 地域薬剤師会の入会と県薬・日薬の入会は強制ではない。県薬としては制約をかけない。
  - 県薬に入ることが、会員増強の障壁になるようであればそこまでやる必要はない。地域が生き残ることが重要。
  - 今後の戸田薬のあり方は、考える必要がある。
- (3) 県薬主催 これから地域薬剤師会に求められること～現状の把握と今後の取組～の開催について
  - 染川会長、鎌田理事参加
- (4) 県薬主催 オンライン研修会運営方法説明会の開催について
  - 染川会長、鎌田理事参加
- (5) 令和5年度会務確認
- (6) 薬物乱用防止指導員1名増員の件  
伊藤先生、芹沢先生、武長先生、斉藤先生(新任)、染川先生
- (7) 蕨市・戸田市薬剤師会意見交換会「合併について意見交換」
- (8) イオン薬局北戸田店における処方箋応需体制について
- (9) HPV ワクチン研修会を実施予定
- (10) 薬薬連携研修会は、非常に有意義なためもっと広く薬剤師の参加を募るべきである。参加薬局が限定されている。

## 決定事項

- (1) 戸田市薬剤師会HPリニューアルについて
  - 個人用メールアドレス(@todayaku.jp)の取り扱いについて  
全会員に趣旨を周知し、個人か薬剤師会のアドレスかを選択してもらう。
  - サイトバックアップ定額サービスについて  
1年間契約して再検証する。
- (2) ホームページの利用方法提案  
感染症情報の掲載、責任者が必要な情報を自己判断でアップするマニュアルの共有
- (3) 災害支援薬剤師の活動 学術研修の件  
災害薬剤師講演会を実施

## 検討事項

- (1) 会員のあり方について(市薬、県薬、日薬)
- (2) 医薬品流通の改善 休日の備蓄薬について
- (3) 休日当番について
- (4) 会員薬局の麻薬備蓄・薬局間の零売等
- (5) 注射針回収
- (6) 戸田市薬剤師の掘り起こし
- (7) 新たな会員区分の創設

(8) 戸田中央病院以外の病院との薬薬連携

(9) 会営薬局の設立

(10) 蕨市薬剤師会との合併